

四川省概要

2025年6月現在

1. 概況

(1)面積:48.5万km²(日本の1.3倍、全国第5位)

(2)人口:8,374万人(2024年末)

(3)地理・歴史

●四川省は長江上流の四川盆地に位置。昔から農業が発達し、食料が豊富で「天府の国」とも呼ばれ、三国時代に劉備玄徳が「蜀」の都を置いた。

●成都市は中国西南地域の主要都市で消費都市。16年連続で中国国内幸福度No.1。JETRO(日本貿易振興機構)、JNTO(日本政府観光局)の事務所のほか、仏・独・韓等14ヶ国が総領事館を設置。

●パンダの里。2023年以来我が国の上野動物園から香香・カカ・真真が雅安へ、和歌山県アドベンチャーワールド(AW)から永明・櫻浜・桃浜が成都パンダ基地へ返還。2025年6月、AWからさらに4頭が返還予定。



四川省にある世界遺産 九寨溝と黄龍



雅安に里帰りしたシャンシャン

2. 政治情勢

(1)書記:王晓暉(中央委員)

- ・1962年生、吉林省出身。
- ・長く中央宣伝部で勤め、中央政策研究室副主任、宣伝部副部長、国家電影局長を経て、2022年4月より現職。



(2)省長:施小琳(女)(中央候補委員)

- ・1969年生、浙江省出身。同濟大学工商管理修士、四川省副書記、成都市書記を経て、2024年7月より現職。



3. 経済と産業

(1)経済データ(2024年):

- GDP:6兆4,697億元(前年比5.7%。約129兆円(20円/元))
- 第一次産業総生産額:5,619億元(構成比8.7%)、第二次産業総生産額:2兆2,816億元(同35.3%)、第三次産業総生産額:3兆6,260億元(同56%)。
- 貿易総額は1兆457億元(前年比9.4%増)。

(2)主な産業

- 電子情報(パソコン等)、設備機械、食品・紡績、エネルギー化学(シェールガス等)、先進素材(バナジウム、チタン、リチウム、太陽電池等)、健康・医療。近年はコンテンツ関連が発展。

(3)主要動向

- 2000年 「西部大開発」を国家戦略として推進開始
- 2008年 四川大地震で大きな被害
- 2014年 天府新区が国務院に国家級新区として承認される
- 2020年 中央政府は、第4の経済圏として四川省15市と重慶市29区から成る「成渝地区双城経済圏」を設置
- 2023年 7月に習近平総書記が四川訪問。「新たな時代の四川振興(治蜀興川)を推進し更に新たな段階に上る」よう指示

(4)最近のトピック

- 製造業が発達。最近では宜賓のリチウム電池産業、遂寧の電子産業が発展。
- 電力・エネルギー・資源が豊富で全発電量の約8割が水力発電。最近では水素産業にも注力。
- 成都中心に飲食・サービス産業が盛んで、イトーヨーカドーは27年間に亘り展開。最近ではコンテンツ産業が発展。

4. 日本と四川省の関係

(1)在留邦人数:約278名(2024年10月現在)

(2)日系企業数:534社(2024年10月現在)

主な進出企業:トヨタ、コベルコ、東レ、日東電工、出光電子、アルバック、イトーヨーカドー、三菱商事、ローソン、吉野家、三菱UFJ、プロミス等。

(3)友好都市:

四川省と広島県、山梨県、和歌山県、成都市と甲府市、札幌市、樂山市と市川市、庄原市と綿陽市、徳陽市と東広島市など、合計7つの友好都市関係がある。

(4)直航便:成都-成田(デイリー、四川航空、中国国際航空)

成都-大阪(デイリー、四川航空、中国東方航空)